

◦ My Trip to Pakistan and India — Weeds, Weevils and Worries (Christine A. Bennett)
 フロリダ大学の昆虫学者である著者と同僚の Buckingham 氏が1985年4月にパキスタン、インドに、クロモの葉を食べるミギワバエ科の *Hydrellia pakistanae* とチューバー (tuber) にアタックするゾウムシの *Bagous affinis* の採集と研究に行った際の紀行文 (苦勞話) である。この旅行によってこれまでの *B. affinis* に関するいくつかの疑問が解け、現在これをフロリダのクロモの除草のために放す許可を申請中という。

◦ Algal Identification (Carole A. Lembi)
 素人にもわかり易く、藻類 (特に害となる種類のラン藻、緑藻、ミドリムシ、褐色植物について) の簡単な定義と同定法が図入りで書かれている。

◦ *Cercospora rodmanii*: A Biological Control Agent for Waterhyacinth (R. Charudattan)
 1973年に発見された *C. rodmanii* はホテアオイを枯死させるビールス性の菌類であり、フロリダやアメリカ南東部に自然に生育している。この菌はホテアオイに特異的に効果を発揮し、安全な生物制御因子である。野外での実際的な効果には大きな巾があり、他の生物学的あるいは非生物的制御因子と組み合わせられて実用的な除草物質として使用できるという。

◦ Sonar: EPA Approved! (David P. Tarver)
 水草の除草剤としての使用許可を Sonar (フルリダンのエランコ社での商品名) がアメリカ環境保護局から得たのを受けて、同社の研究員が寄稿したもの (訳者注: 著者は FAPMS の会長でもある)。この薬品は1975年に発見され1981年から実験的に使用されてきたもので、光を防ぐカロテノイドの合成を妨げることにより、光に弱いクロロフィルを劣化させる作用をもっている。藻類には効き目がなく、維管束植物のうち特にマツモ、フサモ、クロモ、オオカナダモ、タヌキモ、トリゲモ、ヒルムシロの仲間などによく効くという。 (国井秀伸)

○水草研究会第9回全国集会の御案内

日時 1987年8月1日(土)~2日(日)
 場所 広島県豊田郡安浦町 グリーンピア安浦
 エクスカーションでは、西条盆地 (東広島市) のため池めぐりが予定されています。会の詳細や参加申し込みの要領につきましては、次回の会報でお知らせ致します。

○会員移動

<新入会>

○会費納入のお願い

昭和62年度会費 (3,000円) の納入をお願いします。当会の会費は前納制となっていますので、早い目にお願います。なお、過年度分会費未納の方は、あわせて納入下さい。

送金先 振替口座 神戸7-13829
 水草研究会

退会される方は、必ず事務局まで御一報下さい。

○投稿のお願い

水草に関する総説、報文、短報、資料、紹介、エッセイなど、ふるって投稿下さい。

原稿は横書き原稿用紙に書くこと (タイプ、ワープロは可)。図はそのまま製版できるように仕上げ、活字の貼り込みを希望される場合は、その旨明記して下さい。別刷を必要とする方は、投稿時に部数 (50部以上50部単位) をお知らせ下さい (実費著者負担)。

原稿の送り先 〒657 神戸市灘区鶴甲1-2-1
 神戸大学教養部 角野康郎

水草研究会会報 No. 26 (1986年12月)
 (Bulletin of Water Plant Society, Japan)
 発行 水草研究会 (神戸市灘区鶴甲1-2-1
 神戸大学教養部生物学教室内)
 編集 角野康郎
 印刷 中村印刷株式会社
 (神戸市灘区友田町3-2-3)